

濱田謹吾少年銅像建立35周年記念式典 参考資料

仙北市との姉妹都市提携について

1868年戊辰戦争で東北地方唯一の新政府側として孤立していた秋田藩に、大村藩326名からなる北伐隊(吾往隊)が進軍し、角館を守り抜いたという歴史的背景があります。

この時、大村兵は戦死者7名を数え、その中には2番隊鼓手として参戦した15歳の濱田謹吾少年が含まれます。戦が終わり、角館に運ばれた謹吾少年の軍服には、母チカの和歌が縫い込まれていました。

二葉より 手くれ水くれ待つ花の 君がみために 咲けやこの時

この和歌は角館の人々の心をうち、昭和54年7月18日、歴史をさかのぼり旧角館町との姉妹都市提携が行われました。

その後、市町村合併により旧角館町は仙北市となり、平成21年7月10日、姉妹都市提携30周年記念式典において、大村市と仙北市は新たに調印を行いました。

仙北市との交流事業

毎年6月のおおむら花しょうぶまつりでの物産展、春の桜の絵事業(市民に募集した桜の絵を仙北市に送付)、周年事業